

雪と闘う

雪のある暮らしは、雪かきや雪下ろしなど大変なことばかり。さらに、体が不自由な方にとってはさらに困難は増します。今月号は、体の不自由な方の冬の生活にスポットライトを当てて、その生活の様子をお知らせします。

車いすで生活されている蛸子弘毅先生(手稲東小)にインタビューをしました!

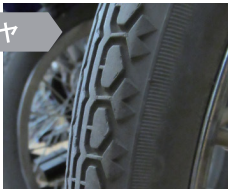
Q.1 雪の生活の大変さ

雪が降ったら大変です。車いすを進めようとしてもタイヤが滑り、全く前に進めない時もあります。ザクザクになった道は最悪です。タイヤが急に止まったりして転びそうになります。柔らかい雪はタイヤが空転するので、進まなくて困ります。どうしても進みたいときは、前輪を持ち上げてウイリー状態で進みます。雪が深いときはあきらめてタクシーなどを利用します。ロードヒーティングは、地面が出ているのでとてもありがたく、もっと充実することを期待しています。



Q.2 車いすにも冬タイヤがある?

夏タイヤ



冬タイヤ



車いすにもスタッドレスタイヤがあり、冬になるとタイヤを交換します。しかし、雪道ではあまり効果を感じたことはありません。また、前輪に短いスキー板のようなものを付けて利用するキャストスキーという道具があります。

Q.3 雪かきや車の雪下ろしは?

車いすユーザーは雪かきが困難なので、ヘルパーをお願いしたり、最初からロードヒーティングのマンションに住んでいたりする方が多いです。私は、実家暮らしなので親に雪かきをしてもらっています。

自家用車の雪下ろしもできないので、エンジンスターターは必須です。前もって、エンジンをスタートさせることで、車内を暖め、雪を落としています。



視覚障がいの方にもインタビューしました!

Q.1 雪が降ると点字ブロックが隠れていますが?



踏み固められた道をたよりに歩いています。

視覚障がい者の方にとって、外を歩く時の目印になる点字ブロックは雪が降るとなくなってしまいます。その場合、他の人が歩いた道をたよりに歩いているため、夏よりずっと困るのです。もし、困っている姿があれば、声を掛けてガイドしてほしいです。



写真提供: NPO法人手と手



スノーフットボール

3学期も半ばです。グラウンドには大きな山。どの学校でもスキー学習が行われている時期ですね。クラスの子もたちは元気に体を動かしているのでしょうか。

今回は冬の運動不足解消にぴったりなスポーツ、「スノーフットボール」についてご紹介。簡単な準備だけですぐにチャレンジできるミニサッカーです。朝の会で紹介して、休み時間に子どもたちと一緒に取り組んでみてください!

Q 何人で行うの?

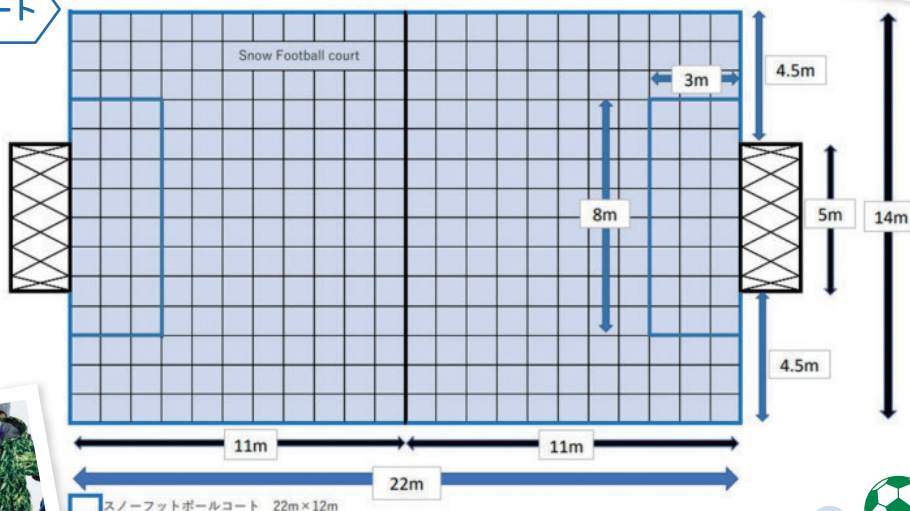
4対4で戦う「スノーフットボール」と6対6で行う「スノーフリーマンフットボール」があります。

Q オフサイドはあるの?

ありません。



スノーフットボールのコート



Q ボールがコートの外に出たときは?

すべてスローイングとします。

Q シューズは?

サッカー用シューズでもよいですが、長靴でも問題ありません。



詳しいルールはこちら!

※ゴールの大きさはあるもので対応してください。

4月1日(土)・2日(日)テイネオリンピアで開催される、さっぽろスノーフェスティバルで体験会も企画しています!

出前授業などに関するお問い合わせはこちら

SNOW FOOTBALL JAPAN 事務局

●TEL:090-1648-2993 ●Email:snow.football.japan@gmail.com



このニュースレターや冬や雪に関する指導案等は札幌市役所HPから、ダウンロード可能です。

【ホームページ】<https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/yukigakushu/>

校務・教育系システムのポータルサイトからも閲覧可能!

【発行・お問合せ】札幌雪学習プロジェクト事務局(札幌市建設局雪対策室事業課) TEL:011-211-2662 FAX: 011-218-5141

雪に関する写真や動画等、いろいろあります!

札幌雪学習

検索

雪学習
HPは
こちら

